

令和4年度 浜松市立光が丘中学校 第2回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月17日（月） 午後1時30分から3時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、鈴木はるみ
坂井 久司、黒川 高明
- 4 欠席委員 甘蔗 孝仁、小澤 房代
- 5 学 校 鈴木 靖（校長）、古橋 康浩（教頭）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし

8 協議事項

- （1）議長の選出について
- （2）生徒の様子について ～授業参観を踏まえて～
- （3）学校支援活動について
- （4）その他

- 9 会議録作成者 古橋 康浩（教頭）

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について第1回協議会において輪番で行うことが決まっていたことを伝え、順番で溝口委員にお願いするとの提案をした。協議の結果、全員異議なくこれを承認した。本日は、溝口委員が議長を務めることとなった。

（2）生徒の様子について ～授業参観を踏まえて～

司会から、授業参観を踏まえた生徒の様子について、感想を含めて、どのような子供に育てほしいかについて意見交換を行った。

- * 龍山地区から何人かの子供がお世話になっている。地元ではあまり接点のないのが実情だが、大変落ち着いていた。3年生はコロナで制約が多かった学年だが、集中的にがんばってくれた。大学では講義がない学校もあるようだが、中身のある指導をお願いしたい。（坂井委員）
- * 2年生のあるクラスの目標が「不要な発言を慎もう」となっていたが、普段の不要な発言はどの程度なものか。中間テストは実施してくれてありがたく思う。個人的には中間テストをやったほうが良いと思っている。テストの分析表のメリットは何か。生徒にすぐに返すのか、評価の材料になるのか。子供にどのように返すかが大切だと思う。（青山委員）
- * 「学習五訓」を強化中との表示があった。「学習五訓」は小中協議会で決められたものだと思う。効果的に使うと良い。（溝口委員）

- * 1年生の教室は人数が多くて大変そうだった。2・3年生には余裕がありそうだったので、余計にそう感じた。1年生3クラスは制度上難しいのか。机、イスが固くて垂直の構造のため、体を痛めないかと思う。子供にも配慮が必要ではないか。「(生徒が) 大人しい」との話も聞く。余分な発言はダメだが、反応(レスポンス)があるのは良いことだと思う。国語の漢字の採点について、「丁寧に書く」ことなど、答案のチェックポイントを明確にしてあったか気になった。(黒川委員)
- * 全体的に落ち着いていた。地元ではめったに出会わないが、学校の近くを通ると存在を感じる。道路沿いの横断幕を見ると頑張っている様子が伝わってくる。目立つところで見せてもらうのは大変良い。(鈴木委員)
- * 朝、散歩していると挨拶をしてくれる。静かにできるのも良いが、活気があると良い。吹奏楽部が天竜芸術祭に出してくれるので大変楽しみである。(笹竹委員)
- * 教室の空席が気になった。「勉強を学校でする」ということが当たり前でなくなってきたのかもしれない。今年はコロナ対策委員を設けるなどして祭りを実施した。防災訓練はどのような形で進めるか決まっていなかったが以前は小中高に呼び掛けて参加してもらっていた。(松井副会長)
- * 横山小の運動会にボランティアで中学生が参加していた。(他のボランティアも含め) 今後また中学生に参加してもらえればと思う。(溝口委員)

協議内容から特に承認等は行わないこととした。

(3) 学校支援活動について

第1回協議会で協議した「地域の方による支援」について

議長の指示により、教頭から家庭科の調理実習補助についての説明があった。

- ・リンゴの皮むきとジャムづくり、ハンバーグ、豚汁の調理実習にのべ33人(19人)の方に協力をしていただく。
- ・すでに終了したリンゴの皮むきとジャムづくりの授業では、包丁の使い方がぎこちない生徒もいたが、怪我なく楽しく実習ができた。
- ・保健体育のダンスでは、地域にお住いの太田先生に、4回授業支援に入ってもらい、基礎・創作・発表という流れで授業を進めていく予定である。
- ・講演会については、地元出身で活躍されている方をお呼びしようとしているが、調整がつかなければ別の方になるかもしれない。

委員からは、以下の発言があった。

- * 素晴らしい計画だと思う。支援のコーディネートをすることで、授業のスキルを上げることに繋がると思う。どこからのアイデアか。(坂井委員)
- * 家庭科の調理補助については学校、保健体育のダンスについては協力者と学校、講演会については学校支援コーディネーターからの提案。先生と生徒の間の世代を狙っている。や

まゆり会という一人暮らしの老人に食事を提供する会の方に協力をいただいた。生き生きとやってくれてよかったし、教え方もうまかった。(笹竹委員)

* 孫と接するような雰囲気でも和気あいあいとして良いと思う。自分の子供はラーメンすら作れない。こういう活動がきっかけになるかもしれない。(黒川委員)

* 街中の学校では人権教育のような外部からの活動を受け入れないこともあるが、天竜は受け入れてくれる。成果を聞くと、意味のある活動だと思うのだが。授業時間が減るところに外部の人材を入れるのがどうだったのか、確認していくことが必要かもしれない。家庭科では本来一人でやるべきところ。担当者はどのように感じているのか。(青山委員)

* 中学の負担になりすぎないような活動にしてほしい。小学校では小1の給食指導や小6の水泳指導などが考えられるが、中学はイメージがしにくい。先生の目標に沿っていくようにしたら良い。当たり前が変わってきているので、変えたほうが良いもの、変えない方が良いものを見極めたい。(松井副会長)

協議内容から特に承認等は行わないこととした。

(4) その他の協議事項について

委員から協議したいことについて、御意見を伺った。

議長の指示により、参加委員から協議事項について確認があった。

* 先生方の気持ちを大切にしたいと思っている。部活動は、外部での活動が入ってきたとき、外で実施する枠組みが入ってくるとバランスが難しいのではないかと。外部コーチとして指導できる条件、指導してくれる人の待遇など、枠だけ決めて学校独自にやれ..では学校がかわいそう。指導者の身分保障など、現場の声が行政に届くと良い。(黒川委員)

協議内容から特に承認等は行わないこととした。

【その他報告事項等】

- ・ 教頭から、次回会議は、令和5年2月6日(月)午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。
- ・ 教頭から、「夢育やらまいか事業」の意見書について、学校支援活動に関する内容で提出する旨の報告があった。
- ・ 教育総務課鈴木指導主事より、学校運営協議会自己評価と結果等の報告について、別冊資料を基に説明があった。

15:10頃協議会終了。

以上、この会議録が正確であることを証します。